

教育相談だより



令和8年 7月
氷見市立比美乃江小学校
スクールカウンセラー
二上 和代

日々の学習や運動会を中心とした行事を終え、1学期はもう終了。子供たちが大好きな、そして保護者の皆さんにとっては食事の準備等少々悩ましいこともあります。まずはホットひと段落の夏休みがやってきますね。今年は親子でどのような思い出作りをしましょうか？

豊かな言葉を育てる ～学校と家庭が力を合わせて～



うまく自分の気持ちを伝えることができなくて困っている子供に出会います。「イヤ」「できん」「きもい」・・・でも本当はそんなことを言いたいのではないのです。僕の気持ち分かってと思えば思うほど、言葉も行動もちぐはぐに。

学校教育の大きなねらいの一つ。適切で豊かな表現力が身に付くようにと、それぞれの発達の段階に応じた言語教育を意識して授業を中心に学校生活での指導を行っています。

例えば) 低学年 (小1～小2) 「聞く・話す」を中心に、「言葉って楽しい」を育てる

中学年 (小3～小4) 「読む→書く」への橋渡し期として、読んで分かる言葉から、自分で使える言葉を増やす指導など

高学年 (小5～小6) 抽象語・社会的語彙の獲得 『責任』『比較』『根拠』『影響』のような抽象語が学習全体の理解を左右するため、中学準備も見据え、理由を言葉で説明する指導など

入学の段階から取り入れている、「ふわふわ言葉ちくちく言葉」も言語教育の一つです。「ちくちく言葉」は「ふわふわ言葉」に置きかえることができます。口ぐせが変わると、考え方や価値観に変化が生まれ、行動や結果までも変わってきます。

私が特に言葉にこだわるのには訳があります。不適切な言葉は受け取った人もですが、言った本人自身の脳にもフィードバックし、脳の聴覚野を通して、発達に深刻な影響を及ぼすからです。知らず知らずのうちに脳の前頭前野や視覚野、聴覚野が委縮したり変形したりし、感情や思考のコントロールが困難になり、発達の遅れや偏りにつながるのです。

ぜひこの機会に、親子で家庭の言語環境を確認し、心地よい言葉のキャッチボールがされ、親も子も穏やかな気持ちで過ごすことができる夏休みになることを願っています。

スクールカウンセラー自己紹介

相談してくださいと言っても、いったい誰、どんな人、本当に大丈夫なの？と、不安ですね。そこで今回は自己紹介をさせていただきます。

これまで特別支援教育に携わり、医療、福祉、保健、労働分野の方々とタッグを組んでいろいろなことにトライしてきました。

EXILE、ミセスグリーンアップルが大好き。仕事終わりには、ほぼ毎日ジムでエアロビクスやヨガ、はたまた合気道(三段)と、とにかく身体を動かすことが大好きです。これまでも「事件は現場で起きている」をモットーに、考える前に動いて問題解決をしてきました。

相談を気難しく考えず、みなさんの「好き」を語ることから始めましょう。気軽に声をかけてください。



2学期の来校日(8時30分～12時30分)

9/8, 15

10/6, 20, 27

11/10, 17, 24 12/1, 8, 15, 22

※他の日も調整可能です